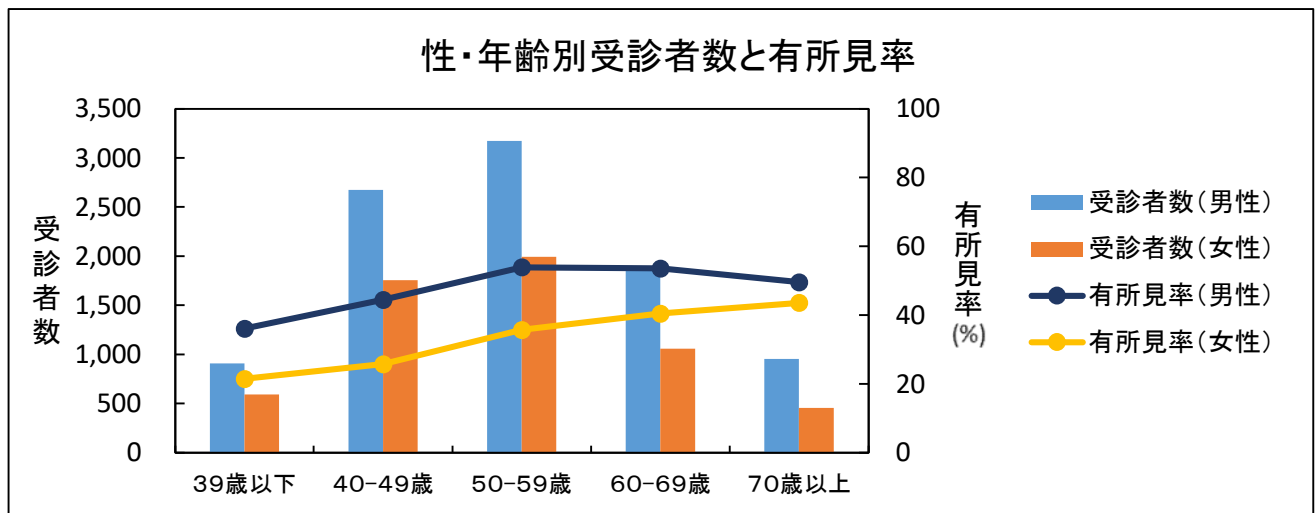


腹部超音波検査

性別	年齢	受診者数	経過観察者数 (C0~C12)	要精検者数 (D・E判定)	要精検(D・E判定) 臓器別件数					
					肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他
男性	39歳以下	908	319	5	1	2	0	1	0	1
	40-49歳	2,674	1,149	16	3	6	6	2	0	1
	50-59歳	3,174	1,633	25	4(1)	7	10	2	1	1
	60-69歳	1,880	930	13	3	4	3	0	1	3
	70歳以上	953	420	9	1(1)	0	2	4	0	2
女性	39歳以下	591	119	4	0	2	1	0	0	1
	40-49歳	1,756	423	11	5	3	2	1	0	0
	50-59歳	1,992	660	8	2	0	4	2	0	0
	60-69歳	1,059	392	9	1	6	3	0	0	0
	70歳以上	454	166	8	0	0	4	4	0	0
計		15,441	6,211	108	20(2)	30	35	16	2	9

赤字はがん発見数

腹部超音波検査の受診者数は15,441人、このうち要治療・要精検者数は108人(0.7%)でした。がん発見数は2人(発見率0.01%)で、肝臓がん1人、肝内胆管がん1人でした。



受診者15,441人、このうち有所見者数は6,628人(42.9%)。50代男性の有所見率が最も高い結果となりました。

腹部超音波D・E判定の所見

単位(件)

検査判定	臓器	おもな所見	計
D判定 (要治療) E判定 (要精検)	肝臓	腫瘍(10) 血管腫(4) 粗造像(2) のう胞(1) 肝硬変(1) 腫瘍(1) 多発肝のう胞(1)	20
	胆のう	腺筋腫症(8) ポリープ(8) 隆起性病変(4) 胆石(4) 壁肥厚(3) 腫瘍(1) 腫大(1) 総胆管拡張(1)	30
	腎臓	腎盂拡張(14) 腫瘍(9) 水腎症(5) 腎血管筋脂肪腫(2) 萎縮(2) 結石(1) 腫瘍(1) 腎外腎盂(1)	35
	膵臓	のう胞(10) 膵管拡張(2) 腫瘍(1) のう胞性腫瘍(1) 腫瘍(1) 膵管径不整(1)	16
	脾臓	腫瘍(2)	2
	その他	副腎腫瘍(3) 腹部大動脈瘤(2) 腹部大動脈壁プラーク(1) 腹部解離性大動脈瘤(1) 後腹膜腫瘍(1) 尿管拡張(1)	9

〈治療例〉・肝腫瘍(E)→肝臓がんと診断され肝部分切除+肝外胆管切除再建術
・肝腫瘍疑い(E)→肝内胆管がんと診断され肝右葉切除

腹部超音波検査所見

		男性		女性		計	
受診者数		9,589		5,852		15,441	
正常者数(A・B) (%)		4,880	(50.9)	3,933	(67.2)	8,813	(57.1)
経過観察者数(C0～C12) (%)		4,451	(46.4)	1,760	(30.1)	6,211	(40.2)
肝臓	脂肪肝	3,199	(33.4)	814	(13.9)	4,013	(26.0)
	肝血管腫	650	(6.8)	525	(9.0)	1,175	(7.6)
	肝のう胞	30	(0.3)	42	(0.7)	72	(0.5)
	肝石灰化	7	(0.07)	5	(0.09)	12	(0.08)
	肝限局性脂肪沈着	16	(0.2)	7	(0.1)	23	(0.1)
	その他	27	(0.3)	29	(0.5)	56	(0.4)
胆のう	胆石	397	(4.1)	168	(2.9)	565	(3.7)
	胆のうポリープ	218	(2.3)	83	(1.4)	301	(1.9)
	胆のう壁内結石	130	(1.4)	43	(0.7)	173	(1.1)
	胆のう腺筋腫症	189	(2.0)	60	(1.0)	249	(1.6)
	その他	49	(0.5)	34	(0.6)	83	(0.5)
腎臓	腎結石	199	(2.1)	53	(0.9)	252	(1.6)
	腎のう胞	124	(1.3)	30	(0.5)	154	(1.0)
	腎血管筋脂肪腫	36	(0.4)	68	(1.2)	104	(0.7)
	腎盂拡張	40	(0.4)	39	(0.7)	79	(0.5)
	腎石灰化	6	(0.06)	2	(0.03)	8	(0.05)
	腎腫瘍	0		2	(0.03)	2	(0.01)
	その他	89	(0.9)	27	(0.5)	116	(0.8)
膵臓	膵石灰化	29	(0.3)	21	(0.4)	50	(0.3)
	膵のう胞	42	(0.4)	40	(0.7)	82	(0.5)
	膵管拡張	18	(0.2)	1	(0.02)	19	(0.1)
	その他	12	(0.1)	7	(0.1)	19	(0.1)
脾臓	脾石灰化	3	(0.03)	6	(0.1)	9	(0.06)
	脾血管腫	11	(0.1)	9	(0.2)	20	(0.1)
	脾のう胞	8	(0.08)	5	(0.09)	13	(0.08)
	その他	19	(0.2)	7	(0.1)	26	(0.2)

肝臓では、脂肪肝が最も高率に発見され、4,013人(26.0%)に認めました。その他、血管腫1,175人(7.6%)、のう胞72人(0.5%)でした。

胆のうでは、胆石565人(3.7%)、胆のうポリープ301人(1.9%)でした。

腎臓では、結石252人(1.6%)、のう胞154人(1.0%)でした。

膵臓・脾臓は他の臓器に比べて所見の少ない臓器ですが、膵のう胞82人(0.5%)、膵石灰化50人(0.3%)、膵管拡張19人(0.1%)、脾血管腫20人(0.1%)、脾のう胞13人(0.08%)、脾石灰化9人(0.06%)でした。